

家庭学習を大切に



新学期が始まって1ヶ月が経ちました。生活のリズムを作り出すことができましたが休みが入るとリズムが崩れてしまうようなそんな柔なりズムではだめですよ。

さて、学期の始めに「学校の柱は授業であり、学校は勉強をするところです。毎日1時間の授業を大切に、家庭での予習や復習そして宿題に取り組むという習慣を身に付けて下さい」という話をしました。実行できているでしょうか？

「親っていいな。いつも子供に勉強しろ、勉強しろとばかり言っていて。勉強しなければいけないのは分かっているんだけど、どう勉強していいのかわかんないんだもん」

と中学生の頃私は母によく言いました。

すると母は「お兄ちゃんに勉強の仕方を聞きなさい」と答えるのです。

でも、兄妹の間というのはなかなか聞きづらいものがあるのです。そんな時に私の前に救世主が現れました。それは誰か？友達です。「問題集を使うといいんじゃないかな」とさりげなくアドバイスしてくれたのです。そしてどんな問題集を使っていいかわからない私を吉祥寺の本屋さん連れて行き、「こんなのがいいんじゃないかな」と社会科の問題集を薦めてくれました。生まれて初めて買った問題集。問題集を買っただけで何となく頭が良くなったような気分さえなっていました。

さてそれからがまさに問題なのです。買った問題集をどう使いこなしていくのか？始めのうちは教科書で調べながらやらないと問題が解けません。教科書やノートをひっくり返しながらやっているうちに、問題として出されている内容は授業で学んだことのポイントとなるころなのだという極めて当たり前のことに気づいたのです。ということは、問題集は復習する時に使うだけではなく、予習にも使えるなということが分かってきました。次の授業でやるところの教科書の内容を何度も何度も読み、問題集をやっておく。すると授業ではポイントを押さえて先生の話の聞くことができるではありませんか。こうなってくると授業が面白い。先生に質問もしてみたいな等という色気も出てくるわけです。質問するにはちょっと調べておかなきゃならない。それじゃ少し詳しい参考書を買ってみよう次ぎから次へと勉強が広がっていくのです。そしてこんな方法で勉強したら他の教科も面白くなるかもしれないと、他の教科の問題集や参考書も買って家庭学習をしていく。家庭学習の2時間や3時間なんてあっという間に経ってしまいます。部活動もやっていたので家庭での限られた時間はとても貴重でした。

「自ら学ぶ力」という言葉がよく使われわますが、そんなのは今に始まったわけではありません。そして何もしないで待っていれば身に付いていくというものでもありません。現状に満足せず、もっと自分を磨き上げていきたいという自分への渴望が家庭学習を充実させ、自然に自ら学ぶ力が付いていくのです。



六中生の活躍

- バドミントン部アベック優勝
- 男子単優勝 横田輝晃(3B)
- 2位 佐藤雄也(2A)
- 3位 秋元 隆(2D)
- 女子単優勝 加藤亜友美(3B)
- 3位 方波見未紀(3B)
- 男子複3位 横田光洋(2D)
- 小杉祐也(2A)
- 卓球部
- 9ブロック団体戦3位

- サッカー部9ブロック大会優勝
- テニス部シングルス第3位 中村和稔(3C)
- 水泳部関東大会出場
- 100M平泳ぎ4位 山田彩世(3C)
- 50M平泳ぎ4位 山田彩世
- 陸上部
- 男子砲丸投優勝 石田幸司(3D)
- 女子走り幅跳優勝 玉木夏紀(3D)
- 200M 優勝 植村祐太(3B)
- 100M準優勝 松村 賢(3D)